

第 1 号議案

2020・21 シーズン事業報告

B1 昇格を果たして迎えた新シーズンの信州ブレイブウォリアーズは、新型コロナウイルスの影響で外国籍選手の来日が開幕に間に合わず、厳しい戦いを強いられるスタートとなった。

しかし、メンバーがそろった 11 月からは、常に上位をキープしてきたチームからも勝利するなど、すばらしい活躍展開したが、シーズン後半の 1 月には新型コロナウイルスの全国的な広がりにより、リーグでも中止や延期となるゲームがあり、すべてのゲームを戦うことができなかった。

このような状況の中でも信州ブレイブウォリアーズは、B1 昇格のチームとしての勝率（20 勝 34 敗）を更新し、西地区での 7 位となった。

後援会でも新型コロナウイルスの感染防止ため、出陣式や新年会などの選手、スタッフと後援会員の親睦を高めるための事業は中止せざるを得なかったことは誠に残念であった。

B1 初年度の後援会は、これまで以上の支援の輪を広げたいと事業を計画しましたが、その結果を次のとおり報告いたします。

1. 後援会組織の拡充

(1) 会則、組織等の見直し

会則の見直し、諸規定の制定については、事務局規程、財務規定等の必要となる細則について定めることができたが、さらに旅費規程、慶弔規定等の整備が必要である。

(2) 専門委員会の充実、各支部活動の活発な推進

4 つの専門委員会を設置したが、まだそれぞれの委員会の活動は進められていない。

支部活動では、各支部でのパブリックビューイングが計画されたが、新型コロナウイルスの影響で東信地区、松本地区、千曲地区で各 1 回のみが実施された。残念ながら東京での開催は 2 年続けての中止となってしまった。

(3) 会員拡大（増）への取り組み

長野市を含めた会員増を目指すために長野市、長野市商工会議所、長野市商工会、振興会、青年会議所等に対し協力要請を行った。

2. 信州ブレイブウォリアーズを中心とした地域活動の推進とチーム支援

(1) 物心にわたるチーム及び運営会社への支援

財政的な支援については、チケット購入、支援金により助成をしたが、会員の継続、新規加入を積極的に行うことができず、予算額には満たない結果となってしまった。

人的な支援としては、ホームゲーム時のウォーブルによる活動のほか、運営会社が制作したポスターの掲示、協力していただける事業者（社）等への配布を行った。

(2)会員の親睦、チームとの交流を深めるためのイベントの開催

開幕前の出陣式、年末には忘年会を計画していたが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から中止せざるを得なかった。

開幕直前には公開練習の見学を実施した。

(3)チームの興行及び運営会社の各事業に対する支援活動

通常のホームゲームにおける運営への支援についてはウォーブル（多くの会員が参加）として試合の運営に協力した。

ポスター掲示、配布の協力

3. その他、信州ブレイブウォリアーズ発展のために必要な事業の推進

(1) 事務所の開設

後援会活動の拠点となるべく事務所を千曲市内に開設した。

人数は少なかったが、事務所でのパブリックビューイングの実施。

(2) 事務職員の雇用

後援会発足後、初めて職員を雇用した。

(3) 被災地域への支援

熊本地震により活動に支障をきたした「熊本ヴォルターズ」に対して、会員の協力を得て支援物資を送った。

(4) ホームページの開設

(5) 「バスケの日」活動推進

Bj リーグ時から続くバスケット愛好者がバスケットボールに親しむために週1回の開催を運営会社とともに進めてきたが、後援会の事業として進めることとなった。